

# 広島市指定上下水道工事業協同組合青年部会

## 「太田川源流の森」 森林保全活動

**担当者** 上坂 正博  
**実施日** 平成19年10月13日（土）  
**参加者** 48名（組合員、従業員、家族、組合職員〔内：青年部会員7名〕）



10月13日（土）、第7回目となる森林保全活動（枝打ち）に今年も参加をさせて頂きました。この活動は水道事業の一翼を担う当組合として、原点から水質保全に努める為にボランティア活動として平成13年度から取り組んでいるものです。

会場である廿日市吉和の「太田川源流の森」は、名水百選にも選ばれた広島市の「母なる川、太田川」の源である冠山が位置する源流域の森林です。広島市はこの355ヘクタールに及ぶ森林を平成10年度に取得され、当組合はその保全活動のお手伝いをしようと参画しました。

初年度と次年度は苗木を植える植林活動を行いましたが、その後は成長した樹木の下枝を切る「枝打ち」をしています。この「枝打ち」により太陽の光が樹木の根元まで届き、また、風通しも良くなり森林が元気になるのだそうです。

当日は曇り空でしたが雨の心配は全くない天気で、参加者は午前10時に全員集合。開会式の後、目的の森林に向けて山道を進みましたが、年々、枝打ちが進んでいるせいか目的地までは遠く、日頃の運動不足もたたって途中の山道で少し息が上がりました。目的の森林へ到着し、枝打ち作業の方法を聞いた後「いざ！枝打ち」へ。枝打ち場所へは急斜面に沿ってツツラ折りの小道が付いていましたが、それでも約20分かけて休み休み目的地に到着した時には足はフラフラ汗びっしょり。しかし、森林のおいしい空気をいっぱい体に入れたせいか、すぐ枝打ち作業へ。急斜面で足元に気を使いながらの作業でしたが、ケガもなく無事終了しました。短い時間ではありましたが、自然環境を守り、おいしい水をつくるお手伝いが少しでもできたかと思えます。

一人の力でできることは限られています。一人でも多くの人にこのような活動に参加をしていただき、緑豊かな美しい自然とそこから湧き出すおいしい水を守っていけたらと改めて思いました。

